

キャビネットラック型非常用放送設備 音声合成拡張ライセンス

FS-25SL-M20、FS-25SL-M100

第1章 総則

第1条 (目的)

本利用規約は、TOA 株式会社（以下、「当社」）が提供する FS-2500/A2500 シリーズの音声合成メッセージ生成機能（以下、「本サービス」）の利用に関する必要事項を定めるものです。当社は、本利用規約の内容に同意したユーザーに対し、日本国内に限定して、本サービスを提供いたします。なお、ユーザーによる本サービスの利用開始をもって、ユーザーは本利用規約の内容に同意したものとします。

第2条 (本規約の追加・変更等)

1. 当社は、①ユーザーの一般の利益に適合する場合、または②本規約の目的に反しておらず、かつ、変更に関する事情に照らして合理的なものである場合、当社の裁量により、本規約の内容を追加・変更することができます。
2. 当社が本規約の内容を追加・変更等するときは、原則、当該変更等の効力が発生する2週間前までに、当社ウェブサイト上でお知らせします。ただし、変更等の内容が、軽微な修正、前項①に該当する場合、または早急に周知すべきものである場合はこの限りではありません。

第2章 本サービスの利用

第3条 (利用開始手続)

1. 本サービスの利用を希望するユーザーは、当社が提供する TOA ユーザーポータルにおいて、購入したライセンスカードに記載されたライセンスコードおよびユーザー情報ならびに本サービスを利用する FS-2500/A2500 シリーズ設定支援ソフトウェアで表示される MAC アドレスを登録し、本サービスのアクティベーション申請を行う必要があります。1つのライセンスコードにつき、アクティベーション申請は1回のみ可能です。
2. ユーザーは、アクティベーション申請後、本サービスを利用することができます。ただし、アクティベーション申請時に登録した MAC アドレス以外の MAC アドレスを利用して本サービスを利用することはできません。
3. ライセンスコードは、原則としてユーザー毎または FS-2500EP、FS-A2500EP 1台毎に1つ購入する必要があります。ただし、同一のユーザーが1つの拠点において複数の FS-2500EP、FS-A2500EP を利用している場合はこの限りではありません。

第4条 (本サービスの機能)

1. 本サービスは、FS-2500/A2500 シリーズ設定支援ソフトウェアに、音声合成によるメッセージの作成機能を追加するものです。ただし、以下の内容を含むメッセージを作成することはできません。
 - ① 他者を不当に差別もしくは誹謗中傷し、または、名誉・信用を毀損するおそれのあるもの
 - ② 他者のプライバシーを侵害するおそれのあるもの
 - ③ 犯罪などの違法行為を助長し、または公序良俗に反するもの
 - ④ 他者の知的財産権（著作権、特許権、実用新案権、商標権、意匠権その他の知的財産権（それらの権利を取得し、またはそれらの権利につき登録等を出願する権利を含みます。)) その他の権利・利益を害するおそれのあるもの
 - ⑤ 専ら宗教的または政治的な内容を発信しようとするもの
 - ⑥ その他、前各号に類するもの
2. 本サービスで作成するメッセージは、FS-2500/A2500 シリーズ設定支援ソフトウェア上でのみ作成可能かつ、FS-2500/A2500 シリーズでのみ再生可能です。
3. ユーザーは、自己が購入したライセンスカードの種類に応じた数のメッセージを作成することができます。作成済みのメッセージ数が上限に達した場合は、ユーザーは、新たにライセンスカードを購入する必要があります。なお、アクティベーション申請から1年経過後は、作成済みのメッセージ数が上限に到達したか否かに関わらず、メッセージを作成することはできません。

第5条（ユーザーの義務）

1. ユーザーは、善良な管理者の注意をもってライセンスカードおよびライセンスコードを管理・保管するものとし、これらについて第三者に貸与、譲渡、名義変更、担保設定等をしてはなりません。当社は、原則としてライセンスカードおよびライセンスコードの再発行は行いません。
2. ライセンスカードやライセンスコードの不正使用を発見した場合、ユーザーは、直ちにその旨を当社に通知するものとします。
3. 本サービスの利用にあたり、ユーザーは自己の費用と責任において、以下の条件を満たす必要があります。
 - ① 本サービスの利用に必要な機器、コンピューター、ソフトウェア、通信回線その他の通信環境等の準備および維持
 - ② 本サービスの利用に供する機器へのウィルス感染、不正アクセスおよび情報漏洩の防止等のセキュリティ対策

第3章 禁止事項

第6条（禁止事項）

1. ユーザーは、本サービスの利用にあたり、以下の各号のいずれかに該当する行為をしてはなりません。
 - ① 本規約に違反し、または他のユーザーに対して本規約違反を助長する行為
 - ② 法令または公序良俗に違反し、または第三者に対してこれらの違反を助長する行為
 - ③ 当社または他のユーザーその他第三者の権利または利益を侵害する行為
 - ④ 本サービスに含まれるソフトウェアに対するリバースエンジニアリング、逆コンパイルなどの解析行為
 - ⑤ 前各号に該当するおそれのある行為
 - ⑥ 前各号のほか、当社が不適切と判断する行為
2. ユーザーが前項各号の禁止行為を発見したときは、すみやかに当社へ通報するものとします。

第7条（サービス利用停止またはライセンス無効）

ユーザーが次の各号の一に該当することが判明した場合、当社は、当該ユーザーによる本サービスの利用を一時停止し、またはライセンスを無効化できるものとします。

- ① 前条または本規約のいずれかの条項に違反した場合
- ② 支払停止もしくは支払不能となり、または破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、特別清算開始もしくはこれらに類する手続の開始の申立てがあった場合
- ③ 当社からの問合せその他の回答を求める連絡に対して30日間以上応答がない場合
- ④ その他前各号に類する事由があると当社が判断した場合

第4章 一般条項

第8条（本サービスの変更、中断、中止、追加および廃止等）

1. 当社は、ユーザーに事前の通知をすることなく、本サービスの内容の全部または一部を変更、追加、廃止することができるものとします。
2. 当社は、以下の各号の事由が生じた場合または当社の裁量により、本サービスの全部または一部の提供を中止することができます。中止する場合は、緊急の場合を除き、当社ウェブサイトを通じてユーザーに通知します。
 - ① 本サービスに関わるソフトウェアや通信機器設備等のメンテナンスや修理を定期的または緊急に行う場合
 - ② 電気通信事業者の役務が提供されない場合
 - ③ 本サービスに関連するサービスの中断、停止、廃止等があった場合
 - ④ 天変地変、戦争、紛争、動乱、暴動、疫病等の不可抗力や火災、停電、その他の不慮の事故により本サービスの提供が困難な場合
 - ⑤ その他前各号に準じ当社が必要と判断した場合

第9条（権利の帰属）

1. 本サービスに関する一切の権利は、当社または当社にライセンスを許諾している者に帰属します。ユーザーは、いかなる理由によっても当社および当社にライセンスを許諾している者の権利を不当に侵害するおそれのある行為（逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングを含みますが、これらに限定されません。）をしてはなりません。
2. 本サービスの利用は、本サービス上に表示される商標、ロゴおよびサービスマーク等を、ユーザーその他の第三者に対し譲渡、または使用許諾するものではありません。
3. 本規約に定めるものを除き、当社は、本サービスに関するいかなる権利もユーザーその他の第三者に対して許諾するものではありません。

第 10 条 (登録情報等の取扱い)

当社は、ユーザーの登録情報を当社プライバシーポリシー (<https://www.toa.co.jp/privacy.htm>) に従って取り扱います。ユーザーは、本サービスのアクティベーション申請をしたことにより、これに同意したものとします。

第 11 条 (秘密保持)

ユーザーは、本規約または本サービスに関連して知り得た当社の情報 (媒体を問いません) を秘密として保持しなければなりません。但し、以下の各号に該当するものはこの限りではありません。

- ① 当社から開示されたときに、すでに一般に知られていたもの
- ② 当社から開示されたときに、すでにユーザーが保有していたもの
- ③ 当社から開示された後に、ユーザーの責任によらずに一般に知られたもの
- ④ 正当な権限のある第三者から秘密保持義務を負うことなく適法に取得したもの
- ⑤ 秘密情報によることなくユーザーが自ら開発したもの

第 12 条 (損害賠償)

1. ユーザーは、本規約に違反し、または本サービスの利用に関連して当社に損害を与えた場合、当社に対し、当該損害 (間接損害を含む) を賠償しなければなりません。
2. 本サービスに関し、当社の責めに帰すべき事由によってユーザーが損害を被ったときは、ユーザーは当該損害について当社に賠償を求めることができます。ただし、この場合の当社の賠償責任は、当該ユーザーの本サービスの利用料を上限とします。

第 13 条 (反社会的勢力の排除)

1. ユーザーは、次の各号の事項を確約するものとします。
 - ① 自己および自己の役員 (取締役、執行役、業務を執行する社員またはこれらに準ずる者をいいます。) が暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員 (以下、総称して「反社会的勢力」といいます。) ではないこと。
 - ② 反社会的勢力に自己の名義を利用させ、本サービスを承認させるものではないこと。
 - ③ 本サービスの有効期間内に自らまたは第三者を利用して、次の行為をしないこと。
 - 脅迫的な言動または暴力を用いる行為
 - 偽計または威力を用いて当社の業務を妨害し、または信用を毀損する行為
2. 本サービスの有効期間内に、ユーザーが前項各号の一に違反する事由が生じた場合には、当社は何らの催告なくして、ただちに本サービスの利用を停止することができます。サービスの利用を停止されたユーザーは、停止により生じる損害について、当社に対し、一切請求することはできません。

第 14 条 (保証の否認および免責)

1. 当社は、本サービスがユーザーの特定の目的に適合すること、期待する機能・価値・正確性・有用性を有すること、ユーザーに適用される法令または業界団体の規則等に適合することおよび不具合が生じないことについて何ら保証するものではありません。
2. 当社は、以下の各号によってユーザーが被った損害につき、賠償する責任を一切負わないものとします。
 - ① ユーザーが本規約の定めに違反したこと
 - ② ユーザーが本サービスの利用に供する機器の故障もしくは損傷
 - ③ メッセージをダウンロードしたことに伴うユーザーの機器の故障もしくは損傷ならびにユーザーの保有するデータ等の損傷または消失
 - ④ その他本サービスに関して当社の責めに帰すべき事由によらずにユーザーが被った損害
3. 本サービスに関してユーザー間またはユーザーと第三者の間で紛争や問題が生じた場合は、当該ユーザーの責任と費用でこれを解決するものとし、当社はこれに一切関与しません。

第 15 条 (連絡・通知)

本サービスに関する問い合わせその他ユーザーから当社に対する連絡または通知、および本規約の変更に関する通知その他当社からユーザーに対する連絡または通知は、当社の定める方法で行うものとします。

第 16 条 (本規約上の地位の譲渡等)

1. ユーザーは、当社の書面による事前の承諾なく、本規約に基づく権利義務の全部または一部を、第三者に譲渡し、または担保の目的に供することはできません。

2. 当社が本サービスにかかる事業を他者に譲渡した場合には、当該事業譲渡に伴い、本規約に基づく権利および義務並びにユーザーの登録情報その他の情報を当該事業譲渡の譲受人に譲渡できるものとし、ユーザーは、かかる譲渡について予め同意したものとみなします。

第 17 条 (分離可能性)

本規約のいずれかの条項またはその一部が、各種法令等により無効と判断された場合であっても、当該判断に係る条項以外の規定は、継続して完全に効力を有し、当社およびユーザーは、当該無効とされた条項または部分を適法とし、効力を果たせるために必要な範囲で修正し、法律的小および経済的に同等の効果を確保できるように努めるものとし、ます。

第 18 条 (存続規定)

第 9 条、第 11 条ないし第 14 条、第 17 条から第 20 条の規定は、ユーザーが購入したライセンスの終了後も有効に存続するものとし、ます。

第 19 条 (準拠法および合意管轄)

本規約の準拠法は日本法とし、本規約に起因したまたは関連する一切の紛争については、神戸地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とし、ます。

第 20 条 (協議解決)

当社およびユーザーは、本規約に定めのない事項または本規約の解釈に疑義が生じた場合には、互いに信義誠実の原則に従って協議の上速やかに解決を図るものとし、ます。

2025 年 6 月 9 日 制定